

## 岡山和牛における牛伝染性リンパ腫（EBL）抵抗性牛の作出と活用：畜産研究所 小林宙

【目的】近年、EBL発症に対して抵抗性を有する牛（抵抗性牛）を確認。抵抗性牛を活用したEBLのまん延防止に向け、岡山和牛における抵抗性牛の有無を調査。また、抵抗性牛の効率的な作出方法の検討や抵抗性牛の活用方法確立のための実証試験を実施。【方法】県内8農場の黒毛和種繁殖雌牛754頭及び県種雄牛を対象に抵抗性を調査。また、抵抗性牛作出のための計画交配を行い、産子の遺伝子型を調査。さらに、抵抗性牛を生物学的防壁とした実証試験を和牛繁殖農家で実施し、効果を調査。【結果】県内和牛繁殖雌牛において抵抗性牛の存在を確認。存在率は1.59%（754頭中12頭）であり、抵抗性牛は貴重な存在。近年の種雄牛では「秋藤花国」のみ抵抗性牛。雌雄に抵抗性牛を用いた計画交配においては、作出した5頭のうち3頭が抵抗性牛であり、効率的な作出が可能。実証試験では、抵抗性牛の配置以降新たな感染は認められず、抵抗性牛を壁とした水平感染防止対策の有効性を確認。